



「大学と研究機関のための知的財産教本」

山口大学知的財産本部 著

A5版 326頁 2,625円(税込)

法律を学ぶにあたり、その際に使用するテキストにはどのようなことを望むだろうか？ 内容の充実度、読みやすさ及びカバーしている法律の幅はもちろんのこと、内容が難しすぎず、一方で、ある程度のレベルで記されている、そんなオールマイティなテキストを望むのではないだろうか。

この本は、そのような望みをかなえてくれる一冊といえよう。

見開き2ページで各項目が丁寧にまとめられているため、非常にテンポよく読むことができる。また、特許法だけでなく、実用新案法、意匠法、商標法、著作権法及び不正競争防止法等の工業所有権法も過不足なく記載されている。さらに、判例の紹介などもしており、重要論点については深く掘り下げて学ぶこともできる。

また、各項目ごとにまとめられているので必要箇所を探すのも容易である。例えば、弁理士業の実務において、簡単に要点をまとめたいときや必要要件を忘れてしまった場合などにおいても用いることができる良本である。

(パテント編集委員会：藤浪一郎)

お詫び

パテント5月号、境 正寿氏著の英文タイトルに間違いがございました。ここに、お詫びし訂正いたします。

(誤) A Consideration of a Friendly License of a Sleeping Utilizing a Trust System

(正) A Consideration of a Friendly License of a Sleeping Patent Utilizing a Trust System

From Editors

編集後記

8年前の、特許庁の電子図書館サービス開始当時の特集<インターネット>の記事と、今回の特集の内容を比べると、ネット上でここまでできるようになったのか!! と驚くばかりです。世界各国のIPDLが、居ながらにして検索できるとは、正に技術の進歩ですね。弁理士こそ、この技術を使いこなさなければと痛感しております。(Y.K)

「知的財産」に関する多くの話題が、新聞紙上等を賑わす時代になっています。知的財産に関する情報が氾濫しつつあるように思われる、今日この頃です。

そんな中で「パテント誌」は、日本弁理士会の発行する貴重な信頼のおける情報源として、益々その重要性が増しているものと思われまふ。多くの先生方や事務局の方のご努力によって作成・編集されている本誌は、知財に携わる、あるいは興味を持たれている方々のお役に立てるものであると確信しています。(H.S.)

今回の特集は、私自身がとても知りたかった情報です。

私の日々の業務では、電子図書館等のちゃんとした使い方も知らず、つついとおどろきな検索で済ましてしまっている毎日ですが、これを何とか改善したいと常々思っていました。

大変お忙しいにもかかわらず無理なお願いをお聞きいただ

き、ご執筆いただいた先生方には心から感謝します。

いただいた原稿はどれも目から鱗(私が知らなかっただけ? 世間では常識だったのでしょうか?)の情報が随所にあり、また面白く読むことができました。ぜひ、今後の業務に生かしていきたいと思います。

本号は、私の宝物となるでしょう。(purpleball)

今やインターネットの普及で様々な情報が簡単に入手できるようになりましたが、一方で膨大な情報の中から本当に重要な情報を探し当てるのは容易なことではありません。今号の特集では、こうしたインターネット上の知財データの利用法を紹介させていただきました。きっと、皆様の実務に役立つのではないかと思います。また、特許電子図書館(IPDL)のサービスも、今後さらに利便性が向上するようです。期待しています。(KY)

何もしないうちに、パテント編集委員の仕事が終わってしまいました。同じ班の皆さんには、多大なるご迷惑をおかけしましたこと、この場を借りて伏してお詫び申し上げます。

外から見れば、「たかだか年2回の査読ぐらいじゃないの」と言われるかもしれませんが、素人のエッセイを査読するのはわけが違います。専門家の皆さんに、多忙な時間を割いて書いていただいた原稿を斜め読みするわけにはいきませんから。

これからは、パテント誌も心して読まねばならないと思えただけでも、編集委員をやった意義があったのかなあ、などと思った次第です。(K.T.)

次号予告【2007年7月号】

7月号では、夏に相応しく、「北海道特集」をお送りします。北海道における知財活動内容を広く紹介することを目的としています。

そして、「不正競争特集」も特集としてお送りする予定です。

二本立ての特集号とする予定ですので、ご期待ください。